



Subaru

ニュース782 '22.6.13

男声合唱団

# 「新生・昂」 若き指揮者で、活動再開！ 昂団員・関係者のみなさまから、「新生 「昂」」に期待する！ひとことずつ

6月3日

□6月3日(金)18:00~20:30 昂定例レッスンが開催されました。奥村さんの体操のあと、坂井先生のしっかりと時間をかけた、呼吸と発声の練習。坂井先生の指揮で、新曲3曲（「フニクリ・フニクラ」、「種子（たね）」「ワクワク」）（譜読み時から、譜面の記載に注意して歌う練習をすること）と、大阪南部合唱発表会予定曲2曲「地雷ではなく花をください」「いのちの歌」をレッスンしました。

参加者は、全22名、部員19名(T1:6名、T2:4名、BR:5名、BS:4名)+本並先生  
ピアノ伴奏は門万沙子さん。



「昂」団員・関係者のみなさまへ

昂広報部 吉川勝彦

2022年6月7日 事務局長 立川孝信

13コンサートが終わって、時間の経過は早く、1か月半が経過しました。多くの団員のみなさまが、コンサート疲れから、ようやく自分を建て直し、新しい指揮者のもと、新しい昂の一員としてレッスンに入っておられると思います。

No.782(1/6)

この間、13コンサートの開催、千秋コンサートの成功、本並先生の指揮者退任、坂井新指揮者の着任、昂友の会・日曜団員の新設等、昂にとって大きな出来事や変化が生まれています。団員の皆さんは、それぞれいろんな思いを持ちながら、昂との生活をしておられると推察しております。

そこで  
「昂ニュース」広報部からのお願いです。

- ①13コンサート、千秋コンサートに関連して、自分の思い・感想を書いてください。良かったこと、悪かったこと、しんどかったこと、気になること、関連してレッスンのこと、千秋さんのこと・・・等
- ②昂の今後(全般)に関連して、書きたいことがあればお願いします。(「新生昂に期待する！」となりましょうか)
- ③本並先生が22年間の昂指揮者から退任されました。お疲れさまでした。60年の合唱人生です。いかに多くの合唱人と巡り合わせ、大きな力をあたえられたことか！本並先生のこと、出会いや出来事、思い出など、古いメンバーはいろんな思い出を、また新しいメンバーもそれなりに、書きたい事・書けることを持っておられましたら、お願いします。簡単で結構ですから、一言書いてください。また、本並先生からも、どのような形になるかわかりませんが、書いていただけたらと思います。(まだ相談はこれからですので、どうなるかわかりませんが。)

この間のみなさまの昂への思いの一端を少しでも共有できれば幸せです。甘口・辛口歓迎いたします。「団員の声や投稿があふれる？昂ニュースにするために！」  
よろしくお願いします。

④新しく指揮者に着任された坂井さんへ「着任の挨拶」をお願いしたところ、早速返事のメールが届いています。後日他といっしょにまとめて、転載致します。  
2022年6月6日  
昂広報部長・昂ニュース担当 吉川勝彦

\*\*\*\*\*  
昂団員の皆様へ（昂ニュース原稿の呼び掛け文）

13回コンサート・千秋喜寿コンサートの成功へのご努力に敬意を表します。コロナ禍の中、高齢の合唱団が本当によく頑張ったと思います。早速新入団員や友の会・日曜団員を迎えましたがもっともっと仲間を増やしてうたごえのすばらしさを平和のうたの大切さを広げたいと思います。そこで皆さんの思いを何でも原稿に書いてください。コンサートのこと、知人の感想、団の運営のこと、次回コンサートのこと、体調のこと等、レッスンを終わるとすぐ帰るのでなかなか交流ができません、まず何でも書いてみてください。よろしく申し上げます。 事務局長 立川孝信

\*\*\*\*\*  
(注) 立川事務局長と、電話・メールで情報交換しました。

この間、昴は、実に多くの団員の方々の努力で、2つのコンサート、新入団員・日曜団員の入団・友の会の結成を行い、そして、60年の合唱人生を過ごされ、指揮者退任された本並先生のこと、また36歳の若き坂井指揮者を迎えました！

これを、「・・・しました。・・・がありました。」で済ませるのは、誠に忍びない！一言ずつでも、昴の合唱活動や普段の自分の生活での思いをみなさんに書いていただければ、お願いできないだろうか！コロナ禍で2年間も、4人以上での酒肴を自粛するという不自然な忍耐生活の中で、すっかり交流の機会を無くしている私たちが、もう少し、情報交換があってもいいのでは、ということで、皆さんにメールで、お願いしております。よろしくお願ひします。(吉川)

以下、皆様からのご返答です。 \* \* \* \* \*

(1) 坂井威文です。

立川さんよりメッセージの依頼をいただきました。  
団員向けの文章でよろしいですか？以下の文章でお願いします。

-----  
改めまして、昴の皆さま、今後よろしくお願ひいたします。坂井威文(たかふみ)です。  
口頭でもお伝えしているので重複する方も多いとは思いますが、自己紹介を…。昭和63年に堺市に生まれ、現在も泉北ニュータウンの柵・美木多に住んでいます。泉陽高校で合唱を始め、一つ目の大学・近畿大学ではグリークラブの学生指揮者を務めました。その後、うたごえとの関わりを始めましたが、人の前で教えるためにはきちんと勉強した方がいいと思い、28歳のときに大阪音楽大学に入学しました。そのまま大学院に進学してこれから！という時にコロナ禍に突入して、学びを活かす機会がなかなかなく悶々としていました。今回のこのようなご縁をいただいたことに、本当に感謝しています。  
4月のコンサートや練習を見学させていただきましたが、積極的に歌に取り組んでいる姿が印象的でした。先日初めて練習をした際には、至らぬ指示にも即座に反応して変わっていく様が嬉しく、これから昴といろいろなことに挑戦していけそうだという決意をしました。

(2) 題名：思うがままに乱文乱筆 千秋昌弘 2022. 6. 7

思うがままに書きます。

正直、今の私は空っぽだ。全部出し尽くした。  
新しい職場で新シフトに体と頭を慣らすのに精一杯だ。  
幸い西天満の現場と中之島図書館が近いので、本を借りたり、背表紙をただ眺めたり  
少しだけ文化的時間を味わうことが出来るのがせめてもの幸いだ。  
週4回とはいえ朝の5時起床は体のリズムが慣れるまで辛い。

大きなコンサートを成功裏に終わらせたのは本当によかった。  
今は、コンサートのお礼の電話やDVDを送ったりを何とかやれている。  
気持ちは8月6日名張での9条の会公演(名張市武道館いきいき)1:30~2:15の45分間のステージをどう成功させるかが、頭の中を大きく占めている。  
そして大阪のうたごえ創作発表交流会への創作曲の練習(暗譜)もこれからだ。7月29日の「8月の

祈りコンサート」への関わりもこれからだ。

なかなか4月、5月のコンサート成功を味わっている暇がない。ただ「励まされた」「私も頑張る」と言  
って下さる方々に励まされている。感謝している。

88歳で歌いたい思いはある。そのためにも体を、歌える身体を整えていたい。88歳まで働けたら  
いいのだが。

昴ニュースに悩まれている真摯な姿にいつも敬服しています。

宏司さんや吉岡さん、川妻さんあたりで助けてもらえないでしょうか

千秋の近況を思うがままに書きました。昴コンや千秋コンの感想的なものはもう少し時間がた  
たないと書けない気がします。すいません。 千秋昌弘

千秋さんへ吉川返信：2022.6.7

千秋様

早速投稿いただき感謝です。

なんの愚痴も言われず、態度の悪い他人を叱責もせず、コツコツと、自分の決められたことはもちろ  
ん、昴やコスモスやなにわのレッスンにも休まず参加されておられる、しかも直前の千秋教室も・・・  
そして、大きな千秋コンサートを、合唱団員にも歌う機会を与えて、成功させる。あれだけのエネルギ  
ーを毎日使って生きておられる千秋さんの姿に身近に接して、頭が下がります。

もっと自分の身体を大事にしてください。使いすぎですよ。しばらく精神的にも、身体も休めていた  
きますように。いつも、いろいろとご配慮いただきありがとうございます。 吉川勝彦

### (3)「新生「昴」のために・・・希望につながる新たな一步を踏み出しましょう！」

**Bs 川妻成美**

昴の最大の課題は団員拡大であり、誰もが団員増を願っています。でも願っているだけ  
ではただの夢で終わります。夢を実現するためにどうすればいいのか、私の思いをまとめ  
てみましたがどうでしょうか。みんなで知恵を出し合って、具体的に行動に踏み出す必要  
があります。皆さんのアイデアもぜひ聞かせてほしいと思います。

○「感動した」でなく「楽しかった」と言ってもらえるコンサートを作りませんか

コンサートで「感動した」という感想は多いけれど「楽しかった」はあまり聞きません。昴の  
伝統や持ち味は引き継ぎながらも、今年1年は団員勧誘のために思い切って新しい昴に変身して  
みませんか。うたごえや合唱に馴染みがない圧倒的多数の人々を主な対象として、よく知られた  
曲を中心に「これがあの昴?!!」と驚かれるような今までにないような選曲や企画で、誰もが楽  
しめるコンサートに挑戦してみても・・・?そうすることから新たなファンも開拓でき、入団  
希望にもつながるのではと思うのです。

○ 次回コンサートは

最低でも50人以上(日曜団員・友の会含む)で、賑やかなステージを実現しませんか

日曜団員・友の会については、13回コンサートの600人のお客さんの前で1年後のステー  
ジを大々的に約束したのですから、少人数では期待を裏切ってしまう。たちまち7月から友  
の会の練習が始まりますが、今のままでは実施が危ぶまれる参加状況のようです。

当たり前ですが思っているだけでは団員・会員は増えません。具体的に勧誘に踏み出さなけれ  
ば・・・。多分、興味はあるけれどまだ活動実態がないので参加をためらっているだけで、熱  
意を持ってお誘いすれば応えてくれる人もかなりおられるはず。みんなが本気で取り組めば、  
日曜団員や友の会なら決して不可能な数ではないと思います。

これぐらいの目標が達成できないようなら、昴の未来に期待できません。そう思いませんか。私も  
取りあえず二人だけですが、手紙でお誘いしてみました。結果はまだ?ですが・・・。がんばりま  
しょう : 吉川様 いつもごくろうさまです。 立川さんからの依頼メールに上手く乗せられて、今の思い

まとめてみました。川妻

#### (4) こんにちは 新人の「米田 剛」です

よろしくお願ひします。

私は1963年5月29日卯年生まれ59歳です。生まれも育ちも大阪市旭区千林です。ちなみに愛妻は寅年の同い年です。そして1999年卯年生まれの愛娘は今年教師になりました。

小学校時代は人気投票でずっと学級委員長でした。中学時代はラグビー部で淀川河川敷がホームグラウンドでした。高校時代はなぜか陸上部で槍投げをしました。投げやりではありません。就職はわが自営業の(株)米田商店で雑貨商をしています。

私の日課は朝6時半のラジオ体操から始まり、そのあと8時までバッティングマシーンで一球入魂の毎日です。土日は同級生や地域の仲間と一日中ソフトや野球をしています。この仲間たちが大好きなんです。

昴に入ったきっかけは枚方の合唱団に置いてあった昴のチラシを見て、なぜか気になり一人で豊中まで行きました。皆様の真面目できれいな歌声そして平和な世界を目指して歌われていることに感激し、強く心が動き皆様と同じ空気を味わいたいと入団を決意しました。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

#### (5) 昴ニュース781号にたいして

いつもお世話様でございます。

この度は昴ニュースを配信下さり誠にありがとうございます。

いつも貴重なニュースをいただき感謝しております。

千秋さんのコンサート・・・聞きたかった・・・残念でした。

又の機会を楽しみにしております。

本並先生が昴の指揮を降りられたことはご本人から

伺いました。とても残念な気持ちでおります。

御礼まで

ユーラスツアーズ(株式会社ユーラストラベル)

代表取締役: 滝澤 泰斗

#### (6) いつも「昴ニュース」制作、お疲れ様です。

私は今、年金者組合高石支部の支部長をしています、7月末に総会を控えて

議案書作りなどの雑用に追われています。

「昴」については、私なりの想いはありますがすぐに時間が取れません。

原稿については少し先になりますが、ご容赦よろしくお願ひします。【中谷清一】2022.6.8

#### (7) おはようございます。榎本です。

久しくご無沙汰していますが、お変わりありませんか?

当方、あっちこっちガタが来っていますが、老体ムチ打って何とか頑張っている毎日です。

特に聴力減退がひどく、左耳完全失聴・右耳難聴進行に難儀しており、

好きな合唱活動もいよいよ潮時のようです。

さて、唯一参加している「第一合唱団」の演奏会が下記の通り決まりました。

◎日時: 12月3日(土) 14時開演

◎会場: 大阪フィルハーモニー会館(地下鉄岸里より徒歩2分, 天下茶屋より徒歩5分)

コロナの影響もあって、演目はみなさんが一度は聴いたことのある小品を集めた

アラカルトステージとなる予定です。

チラシ・チケットはこれからの製作になりますが、是非聴きに来てくださるようご案内します。

ご都合連絡ください。以上、近況報告とご案内まで

### 昴 HP 確認しました。

若い指揮者の着任、よかったですネ。  
経歴をみると、かなり造形の深い方そうですね。  
てっきり伊藤さんが継ぐのかと思っていましたが、  
歌手保持の観点からいい選択だと思います。  
新しい団員もあったようで、なによりです。  
BASS パートの強化が急がれますネ。  
次回ステージを期待しています。(榎本)

### (8) 6月3日(金)レッスン報告 伊藤 2022.6.5

体操は奥村さんでしたが、発声練習は坂井氏がリードされ、じっくりと時間をかけた呼吸と発声の練習でした。なかなか良いご指導でした。  
坂井氏のレッスンは、テンポ良く的確な指示を出され、譜読みの段階から、譜面に指示されている強弱記号を意識し、日本語歌詞の表現にも気を使う理想的な指導でした。  
それぞれの曲の全体構造を理解されての指示で、良い指揮者を得たと改めて思い至りました。  
時間があっという間に経ってしまい、久しぶりに充実したレッスンで、とても気持ち良かったです。  
今後の新生「昴」の発展が楽しみになってきました。

大阪南部合発曲の2曲。本並先生ご指導の歌い方と異なる点があるので、欠席されたメンバーにはパートリーダーからしっかりと伝達してもらう必要があると思います。

「地雷ではなく花をください」: HP 掲載レッスン記録に少し書いておきました。

本並指揮では、元々の本並譜面記載の音符長さ通りに伸ばさず、短めに切って、ポップラーミュージック演奏同様、小気味よく歌うように指導されていました。

しかし、坂井氏は元の本並譜面通りに、各音符表示長さ分をしっかりと伸ばして歌うように変更されました。本並先生は坂井氏のやりたいように指導して良いとおっしゃいましたので、南部合発では従来の歌い方と変えて演奏することになります。

また、「ジライ」の「ライ」を3連符の「ライー」指示通りに歌わず、「ラーイ」に近い歌い方をしているメンバーが居ることも注意されました。曖昧にせず作曲者の指示通りに演奏することに、より正確な注意を向けねばなりません。

「いのちの歌」: 5月に一度指導していただいた時と同様、譜面記載の強弱記号通り、忠実に意識した歌い方が求められています。ピアノ、メゾピアノ部も大きく歌ってしまうメンバーが居ますが、気持ちを乗せて歌うけれども場面場面の強弱変化が、全体として、歌手の心持ちが聴き手に伝わるように強弱指示が書かれていることをきちんと意識した歌い方を身につけることが必要です。

日本語歌詞の語感をより深く意識した言葉の表現にも厳密な注意を向けてください。

色々書きました。昴ニュース編集に、適当に引用していただいて構いません。  
ご苦勞おかけしますが、体調と相談しながら、よろしく願います。